

## 令和7年度第3回 佐倉警察署協議会

- 1 開催日  
令和8年1月27日（火曜日）
- 2 開催場所  
佐倉警察署
- 3 出席者  
・協議会委員10人                      ・警察署15人
- 4 業務報告
  - (1) 管内の犯罪発生状況等について
  - (2) 管内の交通事故発生状況等について
- 5 警察署からの諮問事項および答申等
  - (1) 諮問事項  
在留外国人の安全の確保に向けた総合対策における、在留外国人に対する佐倉警察署の広報啓発・情報発信施策について
  - (2) 答申等
    - 千葉県警察ホームページ内の外国人向けの広報サイトにたどり着きにくいという現状があるため、わかりやすく、つながりやすくする。
    - 在留外国人に向け、犯罪に巻き込まれないための教養を行い、積極的な広報活動を推進する。
    - 県警本部、県庁国際課で連携してインフルエンサーなどを活用していく広報を実施する。
    - SNS、フェイスブック、インスタグラム等の積極的な活用。
- 6 委員からの要望・意見等
  - (1) 【要望】 市内の道路において、数メートル先の横断歩道を利用せず、道路を横断する人が多い箇所がある。  
何か改善策はないか。  
【回答】 現場を確認し対応策を検討しました。そして、道路を管理する市の道路維持課に、この情報を提供した上で、当署からは道路を横断する人が多い場所に看板の設置をしてはどうか、と提案しております。  
今後も委員の方のご意見を踏まえ、市とも情報共有を図りながら安全対策を行ってまいりたいと考えております。
  - (2) 【要望】 市内の道路にある街灯が両サイドとも暗く、人がいても見えづらい。  
付近には学校もあり、若い人が多く通るため危険もある。  
街灯を明るくできないか。  
【回答】 交通安全対策として市の道路維持課へご意見を伝え、情報共有をしております。  
警察でも具体的な対策を検討し、市と情報共有を図りながら安全対策を進めていきます。
  - (3) 【意見】 外国籍の人が起こした事件と日本国籍の人が起こした事件の割合について知りたい。

**【回答】** 平成27年から令和6年10年の期間で見ますと、外国人の被疑者が行った犯罪は、10年間で2倍以上といえます。

刑法犯認知件数自体は全体で減少しているため、外国人が被疑者として検挙された事件自体は増加しているということになります。

在留外国人は近年全国的に増加傾向であり、地域社会に様々な面で影響を及ぼしておりますが、警察としても治安責任を果たすため、社会の急激な変化に対応するべく各種対策を推進してまいりたいと考えておりますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。